

日本言語政策学会第16回大会（2014） プログラム

大会テーマ：言語政策研究の立案と実践の融合—小学校における多言語状況と

ボトムアップの言語政策研究—

大会会場：千葉大学文学部・法経学部棟（西千葉キャンパス）（JR西千葉駅徒歩7分）

アクセス：<http://www.chiba-u.ac.jp/access/nishichiba/index.html>

参加費（予稿集）：会員 500 円 一般 1000 円

第1日目 6月7日(土)

会場：文法1号棟1階106号室（控室：文法2号棟2階第1会議室）

12:00— 受付開始（文法2号棟1階ロビー）

13:00—13:15 会場校挨拶 小沢弘明（千葉大学副学長、普遍教育センター長）

会長挨拶 森住 衛（日本言語政策学会会長）

13:15—14:05 基調講演「言語政策研究の立案と実践の融合—JACTFLの設立及び中等教育における
複言語教育の現状と今後の政策—」

講演者 山崎吉朗（日本外国語教育推進機構理事長）

司会 森住 衛

14:15—15:45 シンポジウム1

テーマ「小学校における多言語状況—言語教育政策と教育現場—」

発表1：国際理解の視点からみることばの教育の実践と理論

山西優二（早稲田大学）

発表2：小学校での外国語教育—実践例から見る言語や文化の扱い方について—

阿部始子（工学院大学・南アルプス子どもの村小学校）

発表3：総合学習における実践から

秦さやか（新宿区立淀橋第四小学校）

司会・討論者 木村哲也（帝京大学）

15:50—17:20 シンポジウム2

テーマ「ボトムアップの言語政策研究—立案側と現場のギャップを埋めるために—」

発表1：立案者と現場と理論のインターフェース—移住者の言語問題を対象に—

渋谷勝己（大阪大学）

発表2：フィールド調査から言語政策へ

猿橋順子（青山学院大学）

発表3：言語問題に対する単純管理と組織管理—EU統合の現場から—

木村護郎クリストフ（上智大学）
討論者 S.K. ファン（神田外語大学）
司会 村岡英裕（千葉大学）

17:40-19:30 懇親会（けやき会館）

第2日目 6月8日(日)

09:30- 受付開始（文法2号棟1階ロビー）

10:00-11:30 一般研究発表（9件）

特別研究レクチャー Pierre Martinez（パリ第8大学名誉教授）

11:30-13:00 ポスター発表（2件）

13:30-17:20 分科会

第1分科会「情報保障」 13:30-15:20 【手話通訳つき】

文法1号棟1階106号室 司会 佐々木倫子（桜美林大学）趣旨説明

- ・尾崎明人（名古屋外国語大学）「外国人受入と日本語施策の課題」
- ・岩田一成（聖心女子大学）「公的文書作成と言語サービスの課題」
- ・森篤嗣（帝塚山大学）「国語科教科書に見られる情報保障教育の課題」

第2分科会「日本の外国語教育政策」 15:30-17:20

文法1号棟1階106号室 司会 古石篤子（慶應義塾大学）

「真のグローバル人材の育成のために-高等学校における複数外国語必修化に向けて-

- ・田淵エルガ（文部科学省 初等中等教育局 外国語教育推進室長）
- ・井上 洋（日本経済団体連合会 社会広報本部長）
- ・臼山利信（多言語教育推進研究会）

第3分科会「メディアと言語政策」 13:30-15:20

文法1号棟1階103号室 司会 岡本能里子（東京国際大学）

- ・下村健一（慶應義塾大学、元TBSキャスター）「情報に振り回されない為の《4つのハテナ》」
- ・五十嵐浩司（大妻女子、元『報道ステーション』コメンテーター）「やわらかな発信力を、どう身につけるか」
- ・討論者：門倉正美（横浜国立大学名誉教授）「メディアリテラシー育成の場としての日本の言語政策と言語教育現場の課題」（仮題）

第4分科会「言語権と格差」 15:30-17:20

文法1号棟1階103号室 司会 杉野俊子（工学院大学）

- ・河原俊昭（京都光華女子大学）「外国人高齢者のかかえる言語問題」
- ・原隆幸（鹿児島大学）「マカオにおける言語格差（仮）」

- ・樋口謙一（相山女学園大学）「韓国が多文化主義政策と言語格差（仮）」

第5分科会「観光と言語」 15:30-17:20

文法1号棟1階102号室 司会 山川和彦(麗澤大学)

- ・藤井久美子(宮崎大学)「観光立国化の中で求められる言語政策とは」
- ・加藤好崇(東海大学)「宿泊施設におけるツーリスト・トークの分析」
- ・山川和彦(麗澤大学)、藤田依久子(静岡産業大学)、温琳(麗澤大学)「外国人観光客受け入れに伴う言語的地域変容について」